

小寺記念精神分析研究財団主催／2016年度

「臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー」

産業メンタルヘルスに関わる専門家への、社会の要請はいや増すばかりです。当財団ではこうした要請に応えるべく、産業メンタルヘルスに関わる専門家の養成に寄与することを目的に2012年度から「臨床家のための、産業メンタルヘルス・セミナー」を開講し、2014年まで継続してまいりました。この3年間の経験を踏まえて、2016年度は、その内容を実践能力の向上をより重視したものに改めると共に、対象者を臨床心理士の他に、産業保健あるいは精神医学に関わる臨床家に広げて「臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー」として開講いたします。

このセミナーは精神分析的あるいは精神力動的な考え方を基本にしていますが、受講にあたっては精神分析的な知識があることを前提にしません。また、産業メンタルヘルス領域の臨床経験のない大学院生や若手の臨床家も含め、幅広い方々を対象に考えております。産業メンタルヘルスの実践能力を高めたいと希望しておられる方はもちろん、知らない実践領域について見てみたいとお考えの方、日頃関わっていない臨床実践を比較対象として自らの臨床実践のあり方を振り返ってみたいとお考えの方など、いずれも歓迎です。奮ってご参加ください。

1. 対象者および募集人数

- ・ 対象者：臨床心理士他、産業保健あるいは精神医学に関わる臨床家
- ・ 募集人数：20名

2. 講師

白波瀬丈一郎（慶應義塾大学）他、産業メンタルヘルス領域で活動する臨床心理士、産業医、看護師、法律家を予定

3. 内容

本セミナーは、講義と事例検討（シナリオ・ロールプレイを含む）の二部構成となります。前半の講義では、多職種の講師が各立場から産業メンタルヘルスの実践についてお話しします。後半の事例検討では、事例検討やシナリオ・ロールプレイを通して実践的技能の獲得を目指します。なお、事例は受講者からも募集します。事例は産業領域のものには限りません。

4. 期間

2016年5月から2017年3月まで月1回、全10回。

5. 日時

5月-9月は第4日曜日。10月-3月は第2日曜日。8月は休み
午後1時から5時半まで

6. 参加費

80,000円（大学院生の方は、60,000円）

【年間予定】講義13時～15時、事例検討15時半～17時半

- 第1回 2016年5月22日
「KEAP (キープ: KEIO Employee Assistance Program) について ①、②」
講師: 白波瀬 丈一郎
- 第2回 2016年6月26日
「わが国の産業精神保健の歴史: KEAPの基礎をなすもの」
講師: 白波瀬 丈一郎
「事例検討 ①」
事例提示: 高橋 智子
- 第3回 2016年7月24日
「KEAPにおける、臨床心理士の役割」
講師: 三浦 有紀
「事例検討 ②」
事例提示: 受講者
- 第4回 2016年9月25日
「産業メンタルヘルス実践への、認知行動療法技法の応用」
講師: 佐渡 充洋
「シナリオ・ロールプレイ ①」
ファシリテーター: 白波瀬 丈一郎、三浦 有紀
- 第5回 2016年10月9日
「産業看護スタッフからみた、産業メンタルヘルスの実践とは (仮題)」
講師: 辻廣 享子 先生
「シナリオ・ロールプレイ ②」
ファシリテーター: 白波瀬 丈一郎、三浦 有紀
- 第6回 2016年11月13日
「産業医からみた、産業メンタルヘルスの実践とは (仮題)」
講師: 小林 靖 先生
「事例検討 ③」
事例提示: 受講者
- 第7回 2016年12月11日
「臨床心理士からみた、産業メンタルヘルスの実践とは」
講師: 松山 公一 先生
「事例検討 ④」
事例提示: 受講者
- 第8回 2017年1月8日
「人事担当者からみた、産業メンタルヘルスの実践とは (仮題)」
講師: 未定
「事例検討 ⑤」
事例提示: 受講者

第9回 2017年2月19日

「産業メンタルヘルスと法～現場課題への法的処方箋」

講師：三柴 丈典 先生

「事例検討 ⑥」

事例提示：受講者

第10回 2017年3月12日

「まとめ」

講師：白波瀬 丈一郎

セミナーの後半では事例検討あるいはシナリオ・ロールプレイを行う予定です。事例検討では、受講者に交代で事例を提出していただきます。ただし事例検討①は、KEAPの臨床心理士が事例提示を担当します。事例は、産業領域のものに限定しません。スクールカウンセリングのように組織との連携が必要となる事例でも結構ですし、個人心理療法の事例にも対応いたします。さまざまな事例を通して、白波瀬がKEAPの実践経験に基づいたスーパービジョンを行います。加えて、KEAPのメンバーである臨床心理士がファシリテーターとして参加いたします。

【セミナー要旨】

本セミナーの企画者である白波瀬は、2009年から精神力動的な考え方に基づいた内部EAP型の新たなメンタルヘルス支援プログラム（KEAP：キープ）をある企業と共同開発中です。その活動の中で明らかになってきたのは、産業メンタルヘルスの臨床は優れて実践的かつ治療的（あるいは成長促進的）であるということです。それだけにそこで働く臨床家には、高い臨床能力と柔軟なコミュニケーション能力、および全体を見渡す俯瞰力とバランス感覚が求められます。たとえば、メンタルヘルス不調に陥った労働者（以下「不調者」と呼びます）の精神症状を単に評価するだけでは不十分です。彼ら一人一人を一つの統一体として捉え、今後も働き続けていくために、活用できる彼らの能力を見立てると共に、彼らが取り組むべき課題を同定する必要があります。

加えて、不調者が所属する職場およびその企業における、「支援する能力」を見立てることも重要です。というのは、不調者自身に対していくら適切な支援プランを立てたとしても、それを実行するだけの「支援する能力」が職場や企業になれば、そのプランは単なる机上の空論にしかならないからです。「支援する能力」をより具体的に表現すれば、それは人事担当者や職場管理監督者など不調者を取り巻く人々がメンタルヘルスに対してどのような理解を持ち、臨床家と協働してどの程度の支援を実行できる力があるかということになります。こうした「支援する能力」を事例毎に見立てて、不調者にとって適切であると同時に、不調者を取り巻く人々にとっても実行可能な支援プランを作成しなくてはなりません。さらに、不調者やその周囲の人々が主体的に参加できるように、支援プランの内容とその意図をわかりやすく説明し伝えることのできる柔軟なコミュニケーション能力もまた臨床家には求められます。

そして、何よりも産業メンタルヘルス活動を実践する臨床家に求められるのは、不調者と企業のどちらにも偏ることなく、両者の利益を最大限に実現するための、全体を見渡す俯瞰力とバランス感覚です。

セミナーは月1回日曜日の13時～17時半に開講します。前半2時間は講義を行い、30分の休憩を挟んで後半2時間は事例検討あるいはシナリオ・ロールプレイを行います。講義では、産業メンタルヘルス領域に携わる、臨床心理士、産業保健スタッフ、人事担当者、法学者などの講師に迎え、産業メンタルヘルスとはどのような世界であるかを学びます。事例検討では、受講者に交代で事例を提出していただきます。ただし、事例検討①は、KEAPの臨床心理士が事例提示を担当します。事例は、産業領域のものに限定しません。スクールカウンセリングのように組織との連携が必要となる事例でも結構ですし、個人心理療法の事例にも対応いたします。さまざまな事例を通して、白波瀬がKEAPの実践経験に基づいたスーパービジョンを行います。加えて、KEAPのメンバーである臨床心理士がファシリテーターとして参加いたします。

小寺記念精神分析研究財団主催／2016年度

臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー 参加申込み書

本参加申込書は**5月6日(金)**までに下記に到着するようにお送り下さい。
(電子メールでのお申し込みは、下記の項目を本文にすべて記載し、件名：「産業メンタルヘルス実践セミナー申し込み」として下さい。記入済みの申し込み書を添付していただいても結構です。)

なお定員を大幅にこえた場合の人数は当方にお任せいただきます。

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-4 SCビル6 小寺記念精神分析研究財団 産業メンタルヘルス実践セミナー係 Fax：03-3350-9749/E-mail：kodera.kt@nifty.com

氏名	フリガナ	女性 男性 (19 年生)
連絡先	〒 -	
TEL/FAX	/	
e-mail アドレス		

勤務先・職種（具体的に記入。例えば「無床精神科診療所・常勤のPSW」など）：

現在、どんな産業メンタルヘルス活動を実施中？近く取り組みたい？いずれ取り組みたい？

本セミナーへの参加動機：

セミナー期間中、スーパービジョンを受けるために提出したい自分の事例について概略。もし希望の時期があればそれも。：

本セミナーをどのようにしてしりましたか？該当する箇所に○をお付け下さい。

郵便・ホームページ・メール・知人の紹介・その他 ()

※記載いただいた個人情報は、セミナーのご連絡およびご案内のみに使用いたします。